

1989年度活動報告

構造地質研究会事務局

1. 春の例会(1989年5月4日、於 茨城大学日本地質学会会場)

特別講演：「東北日本の先第三紀地質構造発達史の諸問題」 永広昌之(東北大学)

総会：1988年度活動報告及び会計報告、会長及び全国運営委員(連絡係)の承認・1989年度活動計画及び予算案の承認

1989年度会長及び全国運営委員(連絡係)

会 長 宇井啓高(富山大)

全国運営委員 (※：事務局員 *：連絡係)

在田一則(北大)	越谷 信(岩手大)	川辺隆幸(山形大)
卯田 強(新潟大)	角田史雄(埼玉大)※	天野一男(茨城大)※
佐藤比呂志(茨城大)※	国安 稔(石油資源)※	小玉喜三郎(地調)※
鈴木尉元(地調)※	佃 栄吉(地調)※	木村克己(地調)※
尾崎正紀(地調)※	伊藤谷生(東大)※	小坂共栄(信州大)
中江 訓(大阪市大)*	鈴木茂之(岡大)	矢野孝雄(広島大)
宮田隆夫(神戸大)	小室裕明(鳥根大)	坂井 卓(九大)
山北 聡(宮崎大)		

1988年度会計報告

収 入 の 部	支 出 の 部
前年度繰越金 626,180	会誌印刷費 650,000
会 費 552,000	郵送費 83,590
入 会 費 3,000	事務雑費 71,450
会誌売り上げ 213,225	行事費 9,590
利子及び雑収入 179	次年度繰越金 579,954
合 計 1,394,584	合 計 1,394,584 (単位：円)

入会費 : 新入会員15名、1989年度入会者(1人)も含む

会誌印刷費 : 33号印刷費

利 子 : 定額貯金分を含まない

郵送費 : ニュース(4回分)・33号郵送・連絡など

行事費 : 会場費、謝礼など

事務費 : コピー代・封筒代・会員名簿作成費など

2. 夏の例会(8月24~26日, 於 信州大学理学部付属臨湖実験所)

勉強会及びシンポジウム「pull-apart basinの諸問題」

世話人: 加藤・尾崎・木村・天野・佃・小坂

勉強会

基調講演(目的, 定義, 歴史等)	加藤 碩一(地調)
論文紹介(事例研究)	
Modern a) Death Valley	尾崎正紀(地調)
b) Turkey	加藤 碩一(地調)
形成過程と幾何学及び形成機構	卯田 強(新大)
シンポジウム(pull-apart basinの研究例)	
Strike slip olistostromal basin ?	
-秩父"付加コンプレックス"の eastward polarity-	山北 聡(宮崎大)
Transpression による西スピッツベルゲン造山帯の形成	鈴木博之(同志社大)
Pull-apart basin の形成過程と幾何学的特性	長濱裕幸(東北大)
Strike-slip fault に伴う basin の形成とその堆積様式	斎藤実篤・長濱裕幸(東北大)
九州北部にみられる中新世後期~鮮新世の東西方向の	
右横ずれ断層群と地溝状構造	木戸道男(大川高)・英彦山田研グループ
山中地溝帯南境界断層における横ずれ断層運動	久田健一郎(筑大)

話題

Jour.Str.Geologyへの投稿および購入について	嶋本利彦(地震研)
日本I.G.C.をめぐる状況について	鈴木尉元(地調)・木村克己(地調)

特別講演

活断層と花崗岩類の微小変形構造	金折裕司(岐大)
-----------------	----------

個人講演

美濃帯チャート・砕屑岩シークエンス境界部の構造	大塚 勉(信大)
スラスト変形に伴う砂岩"ブーダン"の形成機構	
-美濃帯チャート・砕屑岩シークエンスの例-	木村克己(地調)
横ずれ複合断層帯(strike-slip duplex)としての赤石裂線地帯	狩野謙一(静大)
非対称な断面を示す伊那谷構造盆地	松島信幸(松尾小)
中新世秩父盆地の形成過程	高橋雅紀(東北大)
遠心機によるカルデラ陥没の模型実験	小室裕明(高根大)

ワシントンI.G.C.の巡検報告会

宇井啓高(San Andreas 断層など)・鈴木尉元(アメリカ南西部への地質の旅)
鈴木博之(アメリカ北西部のフランシスカンコンプレックス)・木村克己(サンフランシスコ周辺のフランシスカンコンプレックス)

巡検

諏訪湖周辺から長野・山梨県境付近(第三系と糸静線) 案内者: 小山 彰(市大)

3. 冬の例会(12月22~23日, 於 東京大学構内学生会館)

勉強会及びシンポジウム「続 pull-apart basin の諸問題」

世話人: 加藤碩一, 天野一男, 宮田隆夫, 木村克己

勉強会

strike-slip basinの概要と諸問題
地形からみたstrike-slip basin
断層からみたstrike-slip basin

加藤碩一(地調)・世話人会
吉岡敏和(地調)
宮田隆夫(神戸大)

シンポジウム

鉱脈鉱床におけるpull-apart structure—西南北海道の例—
嶺岡構造帯の中新世右横ずれ運動とstrike-slip basinの形成
サンアンドレアス断層南東端のpull-apart堆積盆群
—ソルトンシーとカリフォルニア湾—
近畿地方北部の山間盆地と横ずれ断層
別府—島原地溝の形成機構について
—pull-apart basinの可能性—
九州中軸帯の白亜紀堆積盆の発達過程とアジア東縁部での
カリフォルニア縁辺型プレート境界
和泉横ずれ堆積盆の堆積・変形様式
堆積物からみたstrike-slip basin
棚倉破碎帯—pull-apart basinのテクトニクスと堆積作用—
飛騨変成帯の九頭竜岩体のduplex
飛騨変成帯のflower structure
日高変成帯西帯の変形構造とduplex
黒瀬川構造帯における地層群の重複
横ずれ地帯としての山中地溝帯

渡辺 寧(地調)
斎藤実篤(東北大)
伊藤谷生(東大)
吉岡敏和(地調)
木戸道男(福岡県立高)
坂井 卓(九大)
宮田隆夫(神大)
天野一男(茨大)
天野一男(茨大)
卯田 強・保坂 光・小林公一(新大)
長瀬真央(新大)
新井高志(新大)・志村俊昭(北大)
永田高弘(東北大)
久田健一郎・田村百代(筑大)

個人講演

1989.10.17 Loma Prieta 地震について
日本弧の起源
東アジアと北米との中生代・新生代の地質構造発達史の比較
赤石裂線のgeometryとkinematics
メランジェ中の非対称変形組織とスリップベクトル
—赤石山地四万十帯での例—
淡路島のマイロナイト帯—予報—
阿武隈変成帯竹貫岩体の変形小構造
長野県駒ヶ根地域の領家変成帯の構造

伊藤谷生(東大)
藤田至則
鈴木尉元(地調)
田中秀実・塚本 功・西山隆一(早大)
竹内真司・中路正弥・狩野謙一(静大)
高橋 浩(地調)
三谷忠生(新大)
柚原雅樹(新大)

【編集後記】

前34号から「構造地質」の原稿は、編集作業を迅速にするためにフロッピーディスクで投稿してもらうことになりました。さらにこの35号では今話題のデスクトップパブリッシング(DTP)を試験的に採用してみました。使用したパソコンはアップル社のマックIIで、レーザーライターNTX-Jという日本語ポストスクリプト対応のレーザープリンターで出力したものです。使用したのはアルダス社の日本語ページメーカーというページレイアウト用のソフトです。

この方法の利点は、1. 費用が圧倒的に安い。通常のおよそ半額(使用したハード・ソフトはもちろん別)。2. 図や写真の縮小、張り付けは別にして、編集者側でほとんどすべて版を作ってしまうので印刷会社段階でのミスがほとんどなくなる。3. 印刷原稿を渡してから製本されるまでの時間をほぼ半分にする事ができる。

欠点は、1. 印刷の質がやや落ちる。これはレーザープリンターの300ドット/インチという描画密度に起因するもので、今回はA4で出力したものをB5に縮小したものの、通常の印刷活字にはとてもかなわない。これは本格的な2540dpiの高性能なイメージセッターが使えば全く問題ない。このプリンターの価格は100万円以上もするが、1枚2000円のアウトプットサービスもある。2. 編集者に相当な負担がかかる。これが最大の問題で、編集のためのアシスタントが育てられれば(雇えれば)解決するが、初めてのことで試行錯誤もあって、今回はかなりの負担となった。これが当初の出版予定に間に合わなかった一つの理由でもある。

以上、今回の編集の経験から、いろいろと書きましたが、「構造地質」が年に1冊かなり厚いものという現状から、年に複数冊のやや薄いものをタイムリーに出版という体制になれば、編集の負担も軽くなり、今回の方法はかなり有効であると思う。最終原稿ももらって製本までの期間は確実に3週間を切る事ができます。皆さんのご意見をぜひ事務局までお寄せください。

(ET)